

# 慢性身体疾患に合併する うつ病を疑ったとき ——診療のコツと対応方法



稲垣正俊 著（島根大学医学部精神医学講座 教授）

本コンテンツはハイブリッド版です。PDF だけでなくスマホ等でも読みやすい HTML 版も併せてご利用いただけます。

▶HTML 版のご利用に当たっては、PDF データダウンロード後に弊社よりメールにてお知らせするシリアルナンバーが必要です。

▶シリアルナンバー付きのメールはご購入から 3 営業日以内にお送り致します。

▶弊社サイトでの無料会員登録後、シリアルナンバーを入力することで HTML 版をご利用いただけます。登録手続きの詳細は <https://www.jmedj.co.jp/page/resistration01/> をご参照ください。

▶登録手続

I. 慢性身体疾患とうつ病: 相互に悪化させる関係 ————— p2

II. うつ病を疑うきっかけと, うつ病のスクリーニング方法 ————— p5

III. うつ病への対応方法 ————— p8

IV. 希死念慮の確認の重要性, 対応方法 ————— p10

V. 精神科 (や連携すべき部門) と仲良くするために ————— p12

▶HTML 版を読む

日本医事新報社では、Web オリジナルコンテンツ  
を制作・販売しています。

▶Webコンテンツ一覧

# I . 慢性身体疾患とうつ病：相互に悪化させる関係

## Point

- ▶糖尿病，心臓病，がんなど慢性身体疾患患者はうつ病に罹患しやすい
- ▶逆に，うつ病患者は，糖尿病などの慢性身体疾患に罹患しやすい
- ▶うつ病が合併すると，身体疾患が重症化する，予後が悪化する
- ▶慢性身体疾患の治療のためにも，うつ病を発見し治療する必要がある

## 1 慢性身体疾患とうつ病は高率で合併する

### (1) 身体疾患による免疫系の異常とうつ病の関係

病気に罹患するということ，病気とともに生活するということは，そもそも大きなストレスとなる。また，身体疾患による免疫系の異常がうつ病と関係する。具体的なストレスの要因として，以下が挙げられる。

- ・それまでできていたことが身体疾患のせいでできなくなる
- ・身体疾患の症状・治療のたびに老いていく死にゆく運命を自覚する
- ・慢性的な体の炎症が，sickness behaviorとして知られる倦怠感，気力のなさを生じ，うつ病を誘発する

### (2) 糖尿病患者とうつ病

これまでに蓄積されたエビデンスによると，糖尿病患者はうつ病に罹患しやすくなることが多くの研究で一貫して示されている。糖尿病にうつ病が合併すると糖尿病に様々な悪影響を及ぼす。

- ・そもそも，うつ病により生活の質が低下し，心理的な苦痛が増える
- ・糖尿病の血糖コントロールが悪化する
- ・糖尿病の合併症（網膜症，神経障害，腎症，大血管障害，性機能不全など）の頻度が増える，悪化する
- ・生命予後が短縮する

### (3) 心臓冠動脈疾患患者とうつ病

同じく、心臓冠動脈疾患患者はうつ病に罹患しやすくなることが多くの研究で示されている。

- ・心筋梗塞発症後1カ月以内に1/3の患者がうつ病に罹患する
- ・心筋梗塞にうつ病が合併すると、その後の心血管死亡率、全死亡率とも悪化し、生命予後が短縮する

### (4) がん患者とうつ病

メタ解析によると、がん患者の約15%がうつ病で、3人に1人が抑うつ状態にある。しかも、日本のデータでは、がん診断から1年以内では、自殺死亡のリスクが20倍以上高くなる。

## 2 逆に、うつ病患者は慢性身体疾患に罹患しやすい

---

うつ病により生活習慣が乱れ、慢性身体疾患のリスクが高まる。

- ・うつ病患者は、糖尿病を発症するリスクが高い
- ・うつ病患者は、冠動脈疾患に罹患するリスクが高い
- ・臨床的なうつ病は、高血圧、喫煙、糖尿病、高脂血症といったよく知られている冠動脈疾患リスク要因よりもさらに強いリスク要因である

## 3 「糖尿病⇔うつ病」「冠動脈疾患⇔うつ病」の相互関係

---

上記のように「糖尿病⇔うつ病」「冠動脈疾患⇔うつ病」という関係が成り立ち、互いに症状・予後を悪化させ、患者の生活の質を二重に低下させるため、両者を同時に治療する必要がある。

うつ病を合併した糖尿病・心臓冠動脈疾患、がん患者に対して「多職種協働ケア」が有効であり、以下の介入を行う。

- ・看護師、医師、患者の協働による治療目標の設定
- ・定期的な受診
- ・看護師による身体疾患、うつ病の重症度モニタリング

- ・治療アドヒアランスを向上させるための看護師によるカウンセリング
- ・うつ病の初期治療を行うとともに、必要に応じて相談できる精神科医と連携する

## 4 注意！ 抑うつ状態を生じる身体疾患・薬剤

---

### (1) 身体疾患の影響

以下の身体疾患では、その病態とも関連して抑うつ状態が生じる場合もあるため注意が必要である。

- ・神経疾患：脳血管障害，頭部外傷，脳炎，てんかん，水頭症など
- ・内分泌疾患：甲状腺機能低下/亢進，副甲状腺機能低下/亢進，副腎皮質機能低下など
- ・代謝性疾患：ビタミン欠乏（B<sub>12</sub>，ナイアシン，葉酸など），電解質異常など
- ・炎症性疾患ほか：感染症，後天性免疫不全症候群（acquired immunodeficiency syndrome：AIDS），自己免疫疾患（全身性エリテマトーデス，関節リウマチなど），臓器不全（心不全，呼吸不全，腎・肝不全など），がん

### (2) 薬物の影響

薬物の影響でも抑うつ状態を引き起こすため，その場合は変薬・調整を要することがある。

- ・向精神薬：睡眠薬・抗不安薬，抗てんかん薬，抗精神病薬など
- ・降圧薬
- ・消化性潰瘍治療薬
- ・副腎皮質ホルモン
- ・化学療法剤
- ・インターフェロン
- ・抗アレルギー薬

ほかにも多くの薬剤が抑うつ状態を引き起こすが，詳細は割愛する。